

§ 6.3 一般角の三角比

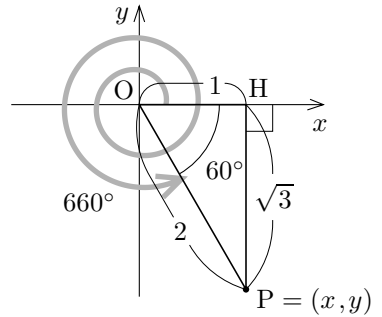
問題 6.3.1 $\overline{OP} = \sqrt{(5-0)^2 + (-4-0)^2} = \sqrt{41}$.

$$\sin\theta = \frac{-4}{\sqrt{41}} = -\frac{4}{\sqrt{41}} , \quad \cos\theta = \frac{5}{\sqrt{41}} , \quad \tan\theta = \frac{-4}{5} = -\frac{4}{5} .$$

問題 6.3.2 $\overline{OP} = 5$ なので, $\sin\theta = \frac{-5}{5} = -1$, $\cos\theta = \frac{0}{5} = 0$. $\tan\theta$ の値は無い.

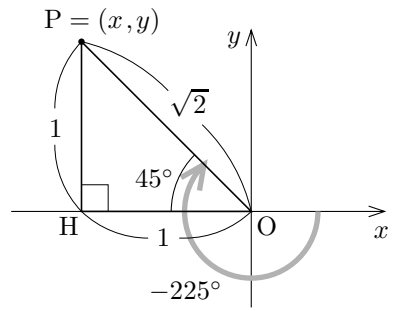
問題 6.3.3 xy 座標平面において, 原点 O を極として x 軸の向きに延びる始線 Ox に対する角度が 660° である動径に属す点 P ($P \neq O$) をとる. 点 P から x 軸に下ろした垂線の足を H とおく. $\angle POH = 60^\circ$. $r = \overline{OP} = 2$ とする. $P = (x, y)$ とおく. $|x| = \overline{OH} = 1$, $x > 0$ なので $x = 1$. $|y| = \overline{HP} = \sqrt{3}$, $y < 0$ なので $y = -\sqrt{3}$. 従って,

$$\sin 660^\circ = \frac{y}{r} = -\frac{\sqrt{3}}{2} , \quad \cos 660^\circ = \frac{x}{r} = \frac{1}{2} , \quad \tan 660^\circ = \frac{y}{x} = -\sqrt{3} .$$



問題 6.3.4 xy 座標平面において, 原点 O を極として x 軸の向きに延びる始線 Ox に対する角度 -225° の動径に属す点 P ($P \neq O$) をとり, 点 P から x 軸に下ろした垂線の足を H とおく. $\angle POH = 45^\circ$. $r = \overline{OP} = \sqrt{2}$ とする. $P = (x, y)$ とおく. $|x| = \overline{OH} = 1$, $x < 0$ なので $x = -1$. $|y| = \overline{HP} = 1$, $y > 0$ なので $y = 1$. 従って,

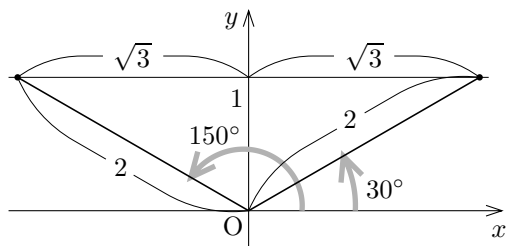
$$\sin(-225^\circ) = \frac{y}{r} = \frac{1}{\sqrt{2}} , \quad \cos(-225^\circ) = \frac{x}{r} = -\frac{1}{\sqrt{2}} , \quad \tan(-225^\circ) = \frac{y}{x} = -1 .$$



問題 6.3.5 xy 座標平面において, 原点 O を極として x 軸の向きに延びる始線 Ox に対する角度 θ の動径に属す点 $P = (x, y)$ ($P \neq O$) をとり, $r = \overline{OP}$ とおくと,

$$\frac{y}{r} = \sin\theta = \frac{1}{2} .$$

$r = \overline{OP} = 2$, $y = 1$ とすると, このような点 $P = (x, y)$ は2つあり, 始線 Ox に対する OP の角度 θ は 30° と 150° とである. つまり $\theta = 30^\circ$ または $\theta = 150^\circ$.



問題 6.3.6 xy 座標平面において, 原点 O を極として x 軸の向きに延びる始線 Ox に対する角度 θ の動径に属す点 $P = (x, y)$ ($P \neq O$) をとり, $r = \overline{OP}$ とおくと,

$$\frac{x}{r} = \cos\theta = -\frac{\sqrt{3}}{2} .$$

$r = \overline{OP} = 2$, $x = -\sqrt{3}$ とすると, このような点 $P = (x, y)$ は2つあり, 始線 Ox に対する OP の角度 θ は 150° と 210° とである. つまり $\theta = 150^\circ$ または $\theta = 210^\circ$.

